

## 『自動車・オートバイ セキュリティガイド簡易版』

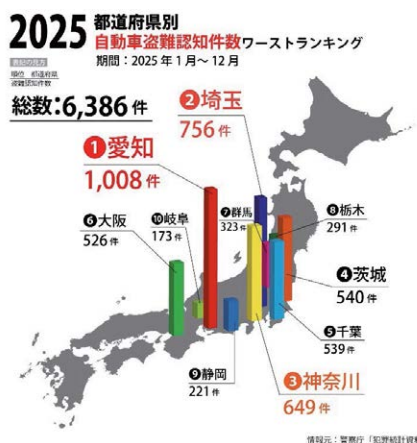
公益社団法人 日本防犯設備協会 自動車・オートバイ委員会

# 自動車オートバイ関連盗難増加中！

他人事では？ あなたも被害にあう可能性があります。

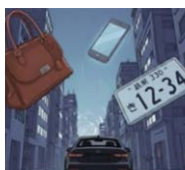
【 自動車のセキュリティ 組織化・巧妙化する自動車盗手口から愛車を守る 】

自動車盗は、2003年の64,223件をピークに減少しましたが、2022年以降は再び増加してきています。特に関東圏が約57%を占めていて、注意が必要です。「特定の高級車だけが狙われる」というのは誤解です。盗まれる数の多い車種の傾向はありますが、あらゆる車種でも被害が発生しています。



### ① 狙われるのは「車両本体」ではありません

- ・パーツ盗難：  
ナンバープレートや部品のみを狙う手口も多発しています。
- ・車上荒らし：  
車内のバッグ、現金、スマートフォンを狙った窓ガラス破壊にも注意が必要です。



### ② 最も重要なのは「各自の防犯意識」

- ・施錠の徹底：短時間の停車でも必ずドアロックすることが安全維持の基本です。
- ・車内を「空」にする：貴重品が見える場所に置かないだけで、被害リスクを下げられます。
- ・駐車場所の選定：  
夜間照明が明るく、防犯カメラやゲート等の設備があり、見通しの良い場所をなるべく選びましょう。
- ・犯行の合図を見逃さない：  
ワイパーに挟まれた「怪しいチラシ」や周囲の「置き石」は、組織窃盗団が不在や防犯意識を確認する下見のサインである可能性があります。



### ③ 時間をかけさせる複数の対策

窃盗犯は、犯行に時間を要することを嫌います。

- ・純正機能＋後付け装置：純正の防犯機能は必ず有効にしましょう。但し、純正装置の仕様は共通で手慣れた犯人に破られるリスクに備え、後付け装置の併用が効果的です。
- ・専門店の活用：信頼できる専門店で、アラームやGPS追跡などの高性能な防犯装置を正しく取り付けることを推奨します。

右記対策の複数併用は、新しい盗難手口に対しても有効な防護策です。



ハンドルロック



タイヤロック

## 【オートバイのセキュリティ 物理的な「固定」が被害を防ぐ】

バイクは自走による盗難以外に、トラックに載せて持ち去られたりもします。  
パーツのみが外し取られたりする被害も深刻です。

### ① 「犯行をする気にさせない」 対策

- ・車体カバーの活用：車種を特定させず、中を覗かせないことで盗難リスクを減らせます。
- ・ガレージ保管：可能な限り、外から見えず物理的に隔離された場所に保管するのが理想的です。

### ② 物理ロックの徹底

- ・「地球ロック」の推奨：  
駐車場の柱などの構造物と車体を太いチェーンなどで直接固定してください。
- ・複数ロックの併用：  
ワイヤーロックやU字ロックなど、異なる種類のロックを組み合わせることで簡単には動かさないようにします。



## 【偽情報や不確かな業者に注意】

現在、SNS等で根拠のない情報や間違った情報が多く出回っています。  
防犯情報を利用した以下の感情操作するような内容もありますので注意が必要です。

- ・不当な高額工賃業者や、関連商品販売目的の宣伝。
- ・SNSアクセス数稼ぎのための誇張表現。
- ・不確かな善意の拡散行為（チェーンメール、拡散 SNS 等）。

リスク：低品質な防犯機器や不適切な業者による取り付けは、セキュリティが甘くなるばかりか、逆手を取られて盗難に繋がる恐れもあります。電氣的な安全性にも不安があります。また、有効なセキュリティであってもも不必要な高額出費は避けたいものです。

対策：防犯装置およびその取り付けは、実績があり信頼できる専門店へ依頼しましょう。

## 【知らずに、法律違反、不正改造になってしまうことがあります！】

- ・海外生産製品の中には日本の電波法に抵触しているものが存在します。  
電波法違反は使用者に責任があり、罰則の対象になる可能性があります。  
(1年以下の懲役または100万円以下の罰金)  
公共の無線通信に影響を与えた場合は更に罪が重くなります。  
技適マーク、ELPマークのある製品を選びましょう。
- ・防犯装置の誤った取り付けが不正改造や不法改造にあたるかもしれません。
- ・CAN接続や車両設定変更などは自動車メーカーの保証外になる可能性があります。

対策：防犯装置およびその取り付けは、実績があり信頼できる専門店へ依頼しましょう。



## 東京都防犯カメラ補助事業に係るガイドラインについて

東京都では、「令和8年度防犯設備整備等区市町村補助金関係事業」\*を実施するに当たり、昨年度に引き続きガイドラインを策定し、都内各市町村向けに次ページのチラシ等を配布しております。

同ガイドラインの中では、

- ①当協会が防犯機器に必要とされる機器と性能の基準を策定し、その基準に適合した機種を「優良防犯機器」と認定していること(RBSS制度)。
- ②優良防犯機器(RBSS認定機器)が、撮影画質など防犯に必要な要求機能を満たすとともに、セキュリティに優れた機能を有しており、地域の防犯対策がさらに向上することが期待されること。
- ③地域団体の防犯カメラの調達に当たっては、当協会がRBSSにおいて認定したものを調達するよう働き掛けること。

と記載し、**RBSS機器の設置を推奨**するとともに、防犯カメラの設置に当たっては、ネットワークカメラの自力での設置等は避けて、

- ④警察署のほか、**防犯設備士や防犯アドバイザーの助言を受けて安全・効果的な設置を図ること。**

を補助事業実施の配慮事項として記載しております。

会員企業、防犯設備士等の皆様におかれましては、是非業務遂行上の参考としてください。

\*東京都では、「防犯設備整備等区市町村補助金関係事業」において、地域の防犯力向上のため、防犯カメラ等の設置を契機として、地域の見守り活動等が活発に展開されるよう、町会・自治会や商店街等に対し、区市町村を通じて設置費用等の補助を行っています。詳しくは、次のリンクを参照ください。

<https://www.tomin-anzen.metro.tokyo.lg.jp/chian/bouhankankyo>



## 防犯カメラの情報セキュリティについて

### 防犯カメラへ不正アクセスされる被害が発生しています！

ネットワーク（IP）カメラを初期パスワードのまま利用していたなどの原因により、防犯カメラに不正にアクセスされ、個人情報流出の危険性が生じる事例が発生しています。

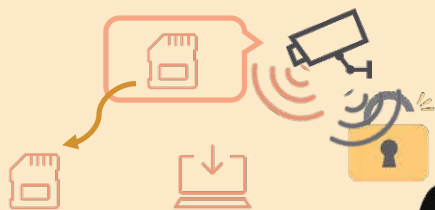
スタンドアロン（記録一体型）カメラでも映像データのダウンロードに無線LANを使用している場合、不正アクセスのリスクがあります。

東京都で補助している防犯カメラには主に二種類ありますが、お使いのカメラがどちらのタイプかご確認のうえ、以下のチェックリストも参考に、情報管理にご留意ください。

#### スタンドアロン（記録一体型）カメラ

カメラ本体とSDカードレコーダーが一体となった防犯カメラ

記録した映像データは、無線LANでパソコンにダウンロードする方法と、SDカードを直接抜き取る方法がある



※都が補助したカメラは  
こちらが多くなっています

#### ネットワーク（IP）カメラ

インターネットやローカルネットワークを通じてデータを転送し、リモートで映像を監視・記録または共有することができる防犯カメラ



#### 防犯カメラ安全利用のためのチェックリスト

- ☐むやみにカメラをインターネットに接続しない
- ☐カメラのパスワードは初期値から変更する
- ☐Web以外の不要なサーバ機能は停止する
- ☐カメラの製品サイトを確認し、バージョンアップする

（参考）IPA「ネットワークカメラシステムにおける情報セキュリティ対策要件チェックリスト」を基に作成



詳しくはIPAで公開している「ネットワークカメラシステムにおける情報セキュリティ対策要件チェックリスト」を参照してください。

[https://www.ipa.go.jp/security/jisec/about/knowledge/cdk3vs00000024v1-att/checklist\\_nwc.pdf](https://www.ipa.go.jp/security/jisec/about/knowledge/cdk3vs00000024v1-att/checklist_nwc.pdf)



設置しているカメラのセキュリティに関するお問合せ・ご相談は、各メーカー・保守点検業者等をお願いします。

### 【防犯カメラの調達（RBSSの推奨）について】

公益社団法人日本防犯設備協会では、防犯機器に必要とされる機器と性能の基準を策定し、その基準に適合した機器を「優良防犯機器」と認定しています。

優良防犯機器は、撮影画質など防犯に必要な要求機能を満たすとともに、セキュリティに優れた機種があります。信頼性の高い機器を設置することで、地域の防犯対策が更に向上することが期待されます。

地域団体の防犯カメラの調達に当たっては、公益社団法人日本防犯設備協会が優良防犯機器認定制度（RBSS）において認定した防犯カメラを調達するよう働き掛けてください。

また、本補助事業はいわゆる街頭防犯カメラの設置を想定した補助事業です。防犯カメラの設置にあたっては、ネットワークカメラの自力での設置等は避けて、警察署の他に防犯設備士や防犯アドバイザーの助言を受けて安全・効果的な設置を図るなど、補助事業実施のうえで配慮いただきますようお願いいたします。

（参考）RBSSについて

[公益社団法人 日本防犯設備協会 | RBSSとは](#)

[RBSS防犯カメラ目録](#)

[公益社団法人 日本防犯設備協会 --防犯カメラ目録--](#)

### 【JC-STAR（IoT製品に対するセキュリティラベリング制度）について】

近年、ネットワークに接続された防犯カメラ等の普及に伴い、情報流出のリスクが高まっており、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）では、令和7年3月からIoT製品に対するセキュリティラベリング制度（JC-STAR）を運用しています。

JC-STARは、共通的な物差しでIoT製品に具備されているセキュリティ機能を評価・可視化し、政府機関、民間企業から一般消費者まで、IoT製品の購入者・調達者が、本制度のラベルを確認することで、自らが求めるセキュリティ水準の製品を容易に選択できるようにすることを目的としています。

今後、本制度のラベル取得製品の普及や、より高い水準のラベル・認証の整備等が進められる見込みですので、参考にいただければと思います。

（参考）セキュリティ要件適合評価及びラベリング制度（JC-STAR）について

[セキュリティ要件適合評価及びラベリング制度（JC-STAR） | 情報セキュリティ | IPA 独立行政法人 情報処理推進機構](#)

東京都 都民安全総合対策本部  
総合推進部 都民安全課

## ★★★日本防犯設備協会のYouTube専用チャンネルのご紹介★★★

ホームページ・会報誌とは異なる広報媒体として、YouTubeに専用チャンネルを作成して動画を使用した広報を強化しています。

いろいろな動画を掲載し、防犯・セキュリティ業界に興味を持っていただくと共に、安全安心まちづくりに役に立つよう頑張っています。

日本防犯設備協会は、2026年6月で設立40周年を迎えました。40周年を記念して協会の紹介動画を掲載しました。

チャンネル登録とグッドボタンを押して応援をお願いします。

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 1. チャンネル名    | 防犯のプロチャンネル     |
| 2. 作成者       | 広報分科会          |
| 3. 収録動画      | 95本（2026年6月現在） |
| セキュリティショー関連： | 49本            |
| その他の紹介等      | ：46本           |

「防犯のプロ」チャンネルは  
こちらから



## SECURITY SHOW 大阪 2026

日本経済新聞社主催のセキュリティ・安全管理総合展「SECURITY SHOW 大阪 2026」が、7月2日（木）～3日（金）にインテックス大阪にて開催されました。

一般社団法人総合防犯士会と公益社団法人日本防犯設備協会の共催により「防犯相談コーナー」を開催し、防犯ガイド等を無料配布しました。

また、NPO法人大阪府防犯設備協会ブースにおいて【防犯セミナー】が行われました。「特殊詐欺の現状と被害防止対策」や「AI時代の詐欺対策」など様々な防犯対策事例をテーマに、社会の安心・安全を守るための情報や最新技術を紹介されました。



＜防犯相談コーナー＞



＜防犯相談コーナー＞



＜大防設セミナー＞

## AUTO-ID & COMMUNICATION EXPO 第28回 自動認識総合展

（一社）日本自動認識システム協会主催の国内唯一の自動認識技術、ソリューションの専門展示会「第28回自動認識総合展」が、9月9日（水）～11日（金）に東京ビッグサイトで開催されます。バーコード、RFID、画像認識、生体認証などの自動認識製品・技術、自動認識を活用した、製造・物流・リテール・その他ソリューションなどが展示されます。

また併設の自動認識セミナーでは、導入事例と先端技術、市場動向など知識習得や現場の課題解決に役立つ情報を無料で提供いたします。

### ★★★ 第28回自動認識総合展 開催概要 ★★★

名 称：第28回自動認識総合展

ゾーン展示：画像認識×AIゾーン

会 期：2026年9月9日（水）～9月11日（金）10：00～17：00（3日間共）

会 場：東京ビッグサイト 南3ホール 〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1

入 場 料：無料（登録制）

主 催：一般社団法人日本自動認識システム協会（JAISA（ジャイサ））

後 援：総務省、外務省、経済産業省（以上一部申請中）

開催テーマ：「未来をつなぐAUTO-ID 見える化から未来化へ。自動認識が拓くDXの現場」

併催事業：BT Space自動認識セミナー／EPC RFID FORUM／出展社プレゼンテーション

自動認識システム大賞 表彰式&講演会／JAISAによる発表（市場調査、チュートリアルセッション）

同時期開催展：国際物流総合展 東1～3、7・8ホール、西1～4ホール

（本展の来場者証で上記の同時期開催展にもご入場できます。）

展示会事務局：（株）シー・エヌ・ティ

公式サイトは  
こちら

